

講義科目名称： 病態生理学

授業コード： 6620000100

英文科目名称： Pathophysiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 CNS必修 助産師必修
担当教員			
◎石田 和子 石井 角保 籠島 充			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎石田 和子 石井 角保</p> <p>【所属】 新潟県立看護大学 同上</p> <p>【氏名】 籠島 充</p> <p>【所属】 上越総合病院</p> <p>【本学の科目区分】 共通基盤分野</p>
------	--

到達目標	<p>ケアとキュアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使して、対象の治療・療養過程の全般を管理・実践するための基盤となる知識・技術を修得する。</p> <p>エビデンスに基づき、専門看護師として看護の立場から炎症、変性、新生物など病態生理学的変化を解釈・判断するために必要な知識と技術を修得する。</p>
------	--

授業概要	<p>炎症、変性、新生物など主な病理学的変化を解釈・判断するための知識を学習する。</p> <p>血液検査、画像検査、内視鏡検査等における所見と診断について、成人期に発症する病的変化についてその病態を理解し、検査・診断・治療について学習する。</p> <p>複雑な病態を呈する事例検討から知識の統合と臨床看護判断能力を養う。</p>
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学習課題：炎症 学習内容：病理所見の特徴を理解したうえで臨床を診る要点 備考：石井</p> <p>2 授業内容 授業形態：講義 学習課題：変性 学習内容：病理所見の特徴を理解したうえで臨床を診る要点 備考：石井</p> <p>3 授業内容 授業形態：講義 学習課題：新生物 学習内容：病理所見の特徴を理解したうえで臨床を診る要点 備考：石井</p> <p>4 授業内容 授業形態：講義 学習課題：病理解剖からみた病態・診断 学習内容：実際に臓器を観察し臨床診断との関連性を考える 備考：石井</p> <p>5 授業内容 授業形態：講義 学習課題：検査における所見と診断 学習内容：血液所見と異常の判断 備考：石井</p> <p>6 授業内容 授業形態：講義 学習課題：検査における所見と診断 学習内容：放射線診断・画像診断・エコー CT MRI シンチ 備考：石井</p> <p>7 授業内容 授業形態：講義 学習課題：検査における所見と診断 学習内容：内視鏡診断 備考：石井</p> <p>8 授業内容 授業形態：講義 学習課題：検査における所見と診断 学習内容：中枢神経系と筋骨格系の検査とアセスメント</p>
------	--

	9	備考：石井 授業内容 授業形態：講義 学習課題：各論 学習内容：代謝異常 備考：石井
	10	授業内容 授業形態：講義 学習課題：各論 学習内容：呼吸不全 備考：籠島
	11	授業内容 授業形態：講義 学習課題：各論 学習内容：高血圧 備考：籠島
	12	授業内容 授業形態：講義 学習課題：各論 学習内容：心不全 備考：籠島
	13	授業内容 授業形態：講義 学習課題：各論 学習内容：肝不全 備考：籠島
	14	授業内容 授業形態：講義 学習課題：各論 学習内容：腎不全 備考：籠島
	15	授業内容 授業形態：演習 学習課題：まとめ 学習内容：複雑な病態を呈する事例の検討 備考：石田
事前・事後学習	適宜指示する。	
評価方法、評価基準	評価はレポート50%、出席状況20%、プレゼンテーション及び演習20%、課題分析能力10%を総合的に判断する。課題分析力では、専門看護師と助産師の高度実践を常に意識して学習しているかを含め評価する。	
テキスト	教科書は指定しない。	
参考図書・資料等	参考書および文献はその都度紹介する。	
受講、課題、資料配布等のルール	プレゼンテーションや事例検討において提示する資料を学生が事前に各自で作成し、人数分の資料を準備する。プレゼンテーションや事例検討など事前に各自、提示する資料を作成し人数分の資料を学生が準備する。	
教員からのメッセージ	授業に関する質問等がある場合、下記メールアドレスにお問い合わせください。 ・石田 和子：kazukoi@niigata-cn.ac.jp	
オフィスアワー	メールによる事前申し込み要	